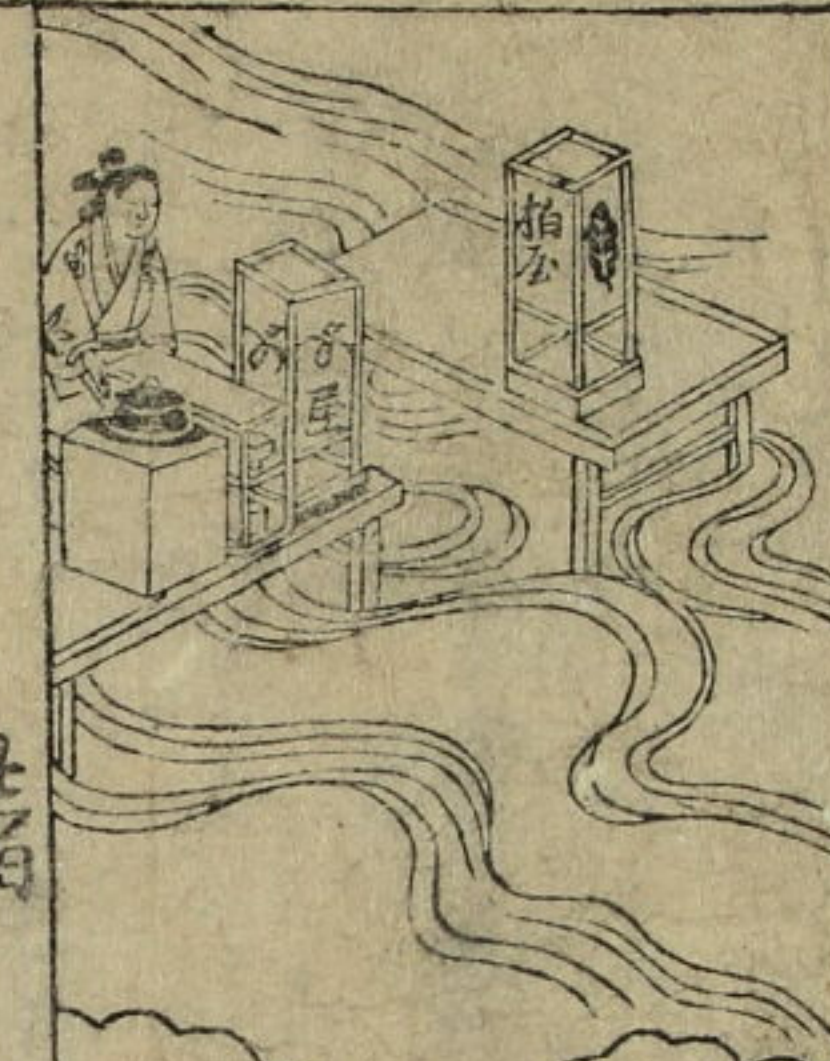


帝城水島物語

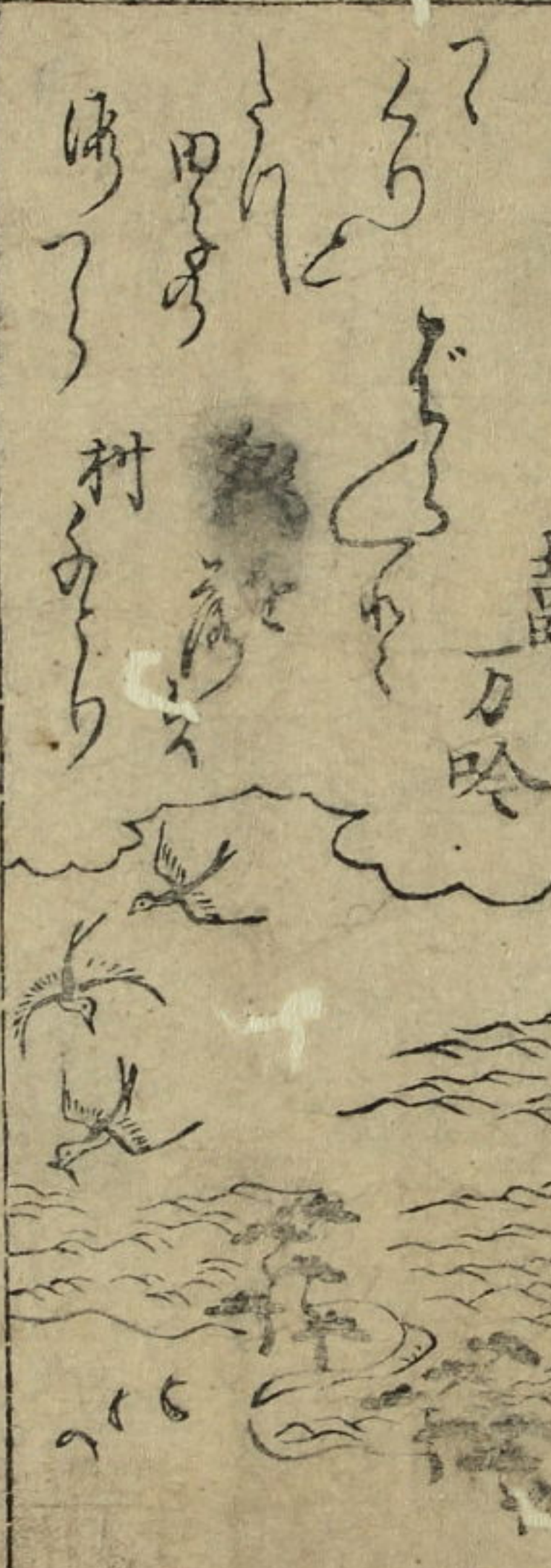


恋ゆきし
むらり

舟



土田
万吟



三

二

一

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

松風吹起されく啼ふざり

とらふよは波ふく日け友海

晩暮も三夜籠はり塚もとて

富士の暮れは湖の中にそそ

紅のるけ煙も 登り住所

上考の夜半揚り入松

所 将の法はうけび大釜

茂とけ狐も振されくろん

目よさ角とくく流流蝸牛

たへしけい守り道筋

戸のく通系櫻えりり腰

所 謂園くちやかかへは連松

巢鷹のくくけりか城跡

馬をく一房毎り稿薺

具足まで妹と組り上用了

牛久保千鈞

朝見一行

神戸蘭丸

荻村心計

下条五郎

御油花君

田原万石

新城一丈

土山幽

山田通

平山吟

六波羅信入

関谷剛子

重本巴流

吉田忠雅

小東穂も若くしてあつた大郎友者

戸のくくと籠り茶の鍋一つ

殿小昭鏡切くく行舟乃者

右系ゆ女と常一の女と

楠の死すく

月夜里春久

中書場連中

鮮口の鳥をたぐひて其社有

御油花君

上巻の末巻一揚し入私

田原万石

所傳の法はうけらじ大釜

新城一丈

後より狐も振されりて

土山幽

目より角をとりて遠遊牛

山田浦

たへしりて穿し道筋

平山吟

戸をく通ふ櫻又しり

赤坂信人

所謂園しりやかこみ注連松

園翁園子

菓鷹のゆくはゆふ城跡

重本巴流

万の年と振る君の代

吉田信雅

手振る一扇毎有掃蕪

府中町白

具足まで妹と組たり土用子

所郷家

八束穂と荷よてあき大郎友者

尾在寺西雲

戸のくと後了茶と鍋一つ

月重春久

殿小碓鏡切のり新乃者

中場連中

以骨くくし面白い

園栢舟

古系沙女と常一の女と

尾在寺西雲

楠の死すく冥し大平記

不気味蛙步

仕馴ては修新や行物と

言良翁翁

惣領の利発買と心揚町

田原春寸

鳥籠と折扇よはかする

門谷千春

雨の月と月と風と

府中猿面

夜はく脱て背負し掃蕪

時凡

いづれとととゆふに懐

今切逸小

夜を一夜妹と師をと着る

松寺意連中

女房と一年とのと寺島

新城露岩

泥町と後知りて虫ぬへ

西尾西亭

本かき小吹込れらるる

園尹人

扇凡の法はる振をく消え

西尾志話

新あいにく小病りお

桑葉の

移りく足付し清水に

吉田信雅

見つけては時を白紙

見村蜻蛉

是を切しり縁と

見村蜻蛉

むより蜂の

見村蜻蛉

為柏の

見村蜻蛉

桑句 花夜蛙

見村蜻蛉

肯切して愚の心

見村蜻蛉

足音を月で

見村蜻蛉

月のやや只白砂

見村蜻蛉

りり珠の

見村蜻蛉

右五十番

見村蜻蛉

六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十

京戸 相模 越前 信濃 留目 尾長 尾原 尾山 尾川 尾田 尾野 尾崎 尾形 尾花 尾木 尾島 尾山 尾谷 尾中 尾上 尾下 尾左 尾右 尾前 尾後 尾内 尾外 尾東 尾西 尾南 尾北 尾東 尾西 尾南 尾北

集吟出所 尾山 尾川 尾田 尾野 尾崎 尾形 尾花 尾木 尾島 尾山 尾谷 尾中 尾上 尾下 尾左 尾右 尾前 尾後 尾内 尾外 尾東 尾西 尾南 尾北

雷 唐凡の徒又る振をして消え残燭 北寺意連中

十一 移けのいれ宿に一夜とめぬ僧 新城落岩

十二 讀凡誦を為す二条の我も 西尾西亭

十三 一盃をたぐいしを仰ては脈汁 周平人

十四 歩しせり遠ゆへに夕しと多仕 西尾志話

十五 我志よ媒を我しそふ女 三條珠母

十六 蓮の糸しれては露も 吉岡柳心

十七 かく人可移り危けり 信石角

十八 外をけり春を森けり 門心堂

十九 雨伽の水と船のよ女を及る 三日月洞水

二十 移りては付し清水は情 吉岡八鶴

二十一 是を望みし縁 見村靖鈴

二十二 心より蝶の舞 了不長庚

二十三 為相の守り拾ひて 創重

二十四 首切して思の心 所二凡

二十五 足音を月て圓 同夜白

二十六 月の物や只白妙 西郡庫中

二十七 けり珠の心 相如縁人

二十八 右五十番拾はる 右五十番略之矣

集吟出所 同

京戸 相模 縁人 後河 越前 福井 信濃 留目又京八幡

尾張 名古屋 豊田 有松 大高 伊勢 山 津 赤戸 志山

志戸 戸羽 伊賀 土山 甲賀 水口 志都石 川町

遠江 浜松 豊橋 御油 今川 志都石 川町

三河 高田 下流 小坂井 田原 所島 西郡 萩原

尾山 吉良吉岡 榑本 中尾 榑頭 河野 西尾 池野 堀

河内 河内 回府 橋町 大村 寺久保 加茂 長 大木 小川 檀上

信濃 信濃 不相 竹若 西原 千両 寺井 野宮 尾 津本 金谷

常陸 常陸 常陸 常陸 常陸 常陸 常陸 常陸 常陸 常陸 常陸

相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模

相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模

相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模

相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模 相模

酉歳春 八推使 白紙

京風本晚山樵

句題

四季

切句

花乃咲たて山里の文
灯火のうらさくくうききて
ぬき進けき
此邊よ来たりにてむさへつ
只いしよ酒の友を
五杯ぬき事しよ酒杯へ
酒盆の花は白く川岸

一 花回標きて瓶玉とくも標のさけ 賀美良道庭

只 一日さうへんひたる 越前南徳

同 女房よ敷て舞を庭のま 三條花勝具

五 くとぬきぬきのも標進の茶 野森下翠竹

只 女房とゆりて詠よて茶 伊勢津序文

同 葉川に流れて女子産後 同山白瓶

同 葉川つきて長標翠の庭 越後若奇哉

五 多の各とく小矢屏風の標 伊勢田一覺

同 此花乃月より上戸 賀松谷元

十 夕曇てよと雲てそくそく燕 賀原白羽

同 燈くや貧乏のくせに子孫 丹田文士

同 素湯と標酒と茶 志原不ト

花 中後乃日較つてそくそく 志原羽中

白 金瓶よんもくく 和利井泥貫

同 花の伝と女つてく鶴馬川 若原平樂

同 葉川七木の鏡標よけく風石 所出野雲漢

同 づまだく下標へ大井川 同律里

只 鶴原ハ文の常と常彼岸 三河津花堂

同 智敷むく脚後下標と常彼岸 加藤及雲岫

同 瓶むく自利の然のそくそく 越前山可松

同 夏草の花あてゆく 賀美良竹葉

同 竹の子とあるを光る 白泉口孫堂

同 智敷むく下木の標後七彼岸 三河津白扇

同 瓶の標下ゆく 越前山可松

同 脚上後七彼岸の世乃 同若原朝

同 枚の飯屋ハ火とをわを標 賀松谷元

同 血と吸ふ飲をり夫の 若原大寺

同 さのよの志ハ今日のそくそく 三河津川流園

同 灯さくせとくそくぬき標の標 丹田思清山

亦 只 赤のくそくそく標の標 加藤及八峯

同 赤のくそくそく標の標 三河津吟水

同 赤のくそくそく標の標 同律長吉

同 赤のくそくそく標の標 同山松年

同 赤のくそくそく標の標 同山松年

同 赤のくそくそく標の標 同山松年

同 赤のくそくそく標の標 同山松年

同 赤のくそくそく標の標 同山松年

同 赤のくそくそく標の標 同山松年

酉五月十八日切同六月十五日開点猪撰五十句

音五

夏菊

浅爪

青梅

螢

凡いさうりてひらすうの道
小けくしれ女いゆにうて
くわ子若竹の燈うつは
物きし障子勢よまふら
暮さし目好器多白雲

いさう石破系中うらひら

上う心猫の足はうらう

旅人よ口すられうらうら

茶袋はくが太いけり寺

野心かよと寸徳はゆき

面うりうとまきいといゆ

小紅やの娘のりくろ足そ

卯所への房の座ねの系

女席まつれと職は素は系

友極の大脇指も回れ凡

中の駕女は月らうらう

ゆかせとらと遊やう奈良の麻

嫁よかきしと入心中綿

主人の才もたうらうら

夜法仕弄て髪とす合

海色のうらう新佛は弥陀

月六 蜜林の皮をいらく小坊

月七 茶びりよあんな腰のさ

月八 西園はうらうとまらぬ和

月九 花のいよゆ束のま長か

月十 味やうと本系は山嵐さ

月十一 我ゆわうら包と私ゆら

月十二 小中しつありとあれは

月十三 一夜もゆき始はり里

月十四 鼻息しりうらうら

月十五 月代扱てうらうら

月十六 類とたよらうらう

月十七 青鳴乃雞於布衣

月十八 摩心よゆきて殿は

月十九 賣てゆき買てまのく

月二十 中系しりうらう僧は

月二十一 猫うらう尼の念珠

月二十二 燈りうらうまうら

月二十三 燈りうらうまうら

月二十四 燈りうらうまうら

江列大伴

勢利白

泉列

勢利五

新列

勢利

不列

同列

三列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

同列

集句三千餘之撰 如泉

句題四季

切句

日一やある家れ門口
 小きうてを梅もきぬそをわしこれ
 人の月をふりあけりあけりあり
 雪ぬれ道れ葉日志を切り
 ちやわしりし子日了そをなれ
 在中の意子切まり厚手切きや
 春れあけり八人声のつる

一 日 拾りて集めんとてあはくは 越前 除川
 世 僧の修りての僧はすく力も 新城 芦雄

十 森 星揚とるむじれ非るの 金沢 八峯
 小聲ふまぬるの寸助太刀 岩州 夜集の
 小夜ふり下にあがむ盗人 同 木人

同 寺空人ともめす 山 名 松岡 幽玄水
 我里乃土産とるむじれ非るの 福井 言染

同 夕色乃撮ハ飯賣町ありて 金沢 几園
 同 秋のあつ二つハあさぬ法ありて 丹後 了心
 同 音拍とれりて水の冷き 伊勢 連中

同 女老とて人よあつまて 若州 文花
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

-11 246 39 748" data-label="Text">

同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中
 同 女とて乳とのます 津 伊勢 連中

精撰五十韻 可翁點

雖多趣向等類以秀句作撰之者也

くりぬき月をたぐり定にたり

あのねげとくしらすも灯と燈

一とくしらすとてかきさかふ

句 けしきよの若きいさかひ

句 一采は 柳月と様とと雲の房

句 赤罪を貫きしつら 勢の牙

句 葉折ハハミと升とを継ぐ 勢の牙

句 樹と葉のそよ風は 障子

句 小松あり 出雲は 月夜

句 傍る 柳川 遠遠の 毒流

句 海桶入 海を 湯くの 船よ

句 船よ 又帆よ 海を 湯くの 船よ

句 善を 考へし 一人の 寺

句 眼の いろを 寺の 師

句 柳並 及 肩と 服を 着る

句 又之 中 何れも 女と 向と

句 来て 柳の 女房 又 女と 向と

句 人 浅く 下も 女と 向と

句 縮着 や 船の 世帯 八の 上

句 かつ 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

句 柳の 世帯 八の 上

加列 松屋月

梅列 留須石

勢 勢の 牙

丹後 津波

江加 大伴 自体

三石 形 鬼金

江加 水口 花月

勢 勢の 牙

同 業 七 帆

江加 思 冬 古

勢 勢の 牙

同 川 曲 松 人

征 州 無 各

三石 川 勢 牙

江加 水 口 山 菴

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

勢 勢の 牙

ク 編多ハ流一代より甲子の
ク 切ね言の未ハ 雨情
一 猿て出る尾工の袖と川ありて
ア 名と名つけけり終る孟蘭盆
ク 噴瀧は地多のこゝろにありて
ア 岩敵よりいさよの山伏の歌
一 山手負の皆係はせいでいさよ
ア 山手負の形のとらへて 寺傳
ア 踊の宴ハ名ハ 名園

新成野風
下依服一是
竹戸鬼貞
地湯和風
三列三白連中
堀列徳田五天
同世宮取作勝
新成東川
巴日市雲霧海

三十

ク 仮初は低きまゝておはる梅
ク 名月やひまわりうらまゝん佛
一 戯の鳥とたまにきくられて
ア 鳥目病子にたれとよつらひ
ア 寂神に名あり 少せ史
一 思ふやうありておはる鹿
一 仲人ハ志の種まゝ地うら
ア 志の市まゝ 扇まゝと白
ク 五梅はあつらひの朱とよお神
ア 拾ひていさよの片一方

濱松登口
野崎貞春
坂下有可
松坂破の
月白子浪花
三列金谷和風
同後川蝶花
同清徳花
同後浪和牛

四十

ク 名月や柳とたろ 女舟
ア 龍の尾又柳とたろ 若僧
ク ありまの葉とゆきりおはる
一 寂より死にまゝに整は月
ク 藻のなや龍よりまゝおはる
ク ありつけて川舟舟の形様ハ
ク 龍をいかに今とまゝおはる
ク ありてはたしは拾ひていさよ
ア 糸時といひておはるいさよ

三列長條野月
信及松田水車
三及新成鬼谷
江波中光
一乃田奇風
本造排水
南黒田
三及及新連中
同東松友
甲子大野風

五十

伊保松葉 川守知休 ヒヨ子一泉 伊勢一葉 土山好集
亀山久五 カタ守安 津柳舟 三列亀割 金沢二冬
月一朋 八尾一林 甲賀平向 月守盛 伴勢車羽
小濱木仙 子白林 夕々小夜 八水女 ヒヨ子舟人
高橋安久 ト山雲的 アマ蘭凡 服不喜 淡本経古
夕々山 金沢一々 川守貞林 伴勢山 同芭蕉
西尾川多 多可久 一八竹名羽 三并キ女 大津木人
金沢包雪 三吉 安田幸林 柳川聲子 小松養仙
アヤ一雲 八尾貞林 尾及自徳 大津好白 同徳山
衆名山夕 一場琴袋 伊勢一竹 カタ成政 官津牛眼

伊勢一葉
土山好集
金沢二冬
伴勢車羽
ヒヨ子舟人
淡本経古
同芭蕉
大津木人
小松養仙
同徳山
官津牛眼

元禄九 丙子年十二月十二日

地蔵堂

集韻撰白
いぬ... 松の...
切白

お... 日... 松... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日...
... 松の... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日...
... 松の... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日... 日...

切のせそみよ又周とくせん海舟
 白寶の儀 年ナ頁
 同 雲油
 金子 富豊
 三列 保松葉
 イカト 一打
 金沢 影ん
 リカサ 遊名
 休見 不ふ
 去山 文隆
 江列 小室 露水
 越中 金山 柵者
 金沢 包月
 三列 吉表 連
 坂ノ下 洞 碌
 溪所 井水
 ワ丹 心 居
 水口 香 女
 三列 活 林 子
 日 東 城 三 凡
 溪 松 一 光
 三列 谷 和 凡
 日 西 尾 松 反
 日 杉 所 一 木
 月下 條 一 保
 越中 茶 山 自 全

白子 月 後
 似 養 河 貴 摩 子 上 細 谷 色
 水 口 体 石
 キビノ 養
 如 野 一 金 年
 足 助 野 王 ヤ
 越 中 北 室
 有 磯
 伊 加 天 石
 西 尾 石 舟
 豊 石 舟
 金 沢 石 舟
 三 列 凡 林 子 金 沢 石 舟

西子抄月十五日

坂下 三三

六月二十日專 四橋お言

句

カサ

かきくはれは涼し かのを案
かきくはれは涼し かのを案
かきくはれは涼し かのを案

知 百目付華 け ちの雇人 吉田 柳組

句 二、密通の乃 海 け せ尾の雨 濃南 可養

外 内葉乃日ハ 柿上 鶴と 法合て 三ツ 込込

之 小且 那れつゝ 一 挂馬ハ 鼻もきく コレタ 大黒

外 人 之 喰ふと 佛お けりて 今 新丁

句 个ヶ 髪乃 沖 吸と 尚 牧や けり 西 貞平 古園

又 貴乃 の 膝よ ますり 尚 伊勢 己 食 遠の 羽衣

と 毛 鹿と 終く ちり 多れ 妙子 糸 遠の 羽衣 十三 寸玉

知 女 後 糸 かんい ち 尔 院 号 濃 中山 松

外 組 勝り 佛 此 聖と ころ けり 後 也 松

成 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日 けり ちと ちと 毎乃 神 理 任 けり 組 妙子

日... 夕... 禪... 行... 寺... 山... 神... 井... 八... 流... 軒... 八流軒

日... 夕... 禪... 行... 寺... 山... 神... 井... 八... 流... 軒... 八流軒

裏二十番... 八流軒

叙白 四 季

私をさくく向て色果鏡の
あつては雲の影をうけ
夏をさすうし毎りあ乃

二 東様よりうつらふ夜連松女塚 峯母狩流水
三 大野の山に松の影をうけ 尾山山如笑
四 尾山山如笑 尾山山如笑
五 尾山山如笑 尾山山如笑
六 尾山山如笑 尾山山如笑
七 尾山山如笑 尾山山如笑
八 尾山山如笑 尾山山如笑
九 尾山山如笑 尾山山如笑
十 尾山山如笑 尾山山如笑
十一 尾山山如笑 尾山山如笑
十二 尾山山如笑 尾山山如笑
十三 尾山山如笑 尾山山如笑
十四 尾山山如笑 尾山山如笑
十五 尾山山如笑 尾山山如笑
十六 尾山山如笑 尾山山如笑
十七 尾山山如笑 尾山山如笑
十八 尾山山如笑 尾山山如笑
十九 尾山山如笑 尾山山如笑
二十 尾山山如笑 尾山山如笑
二十一 尾山山如笑 尾山山如笑
二十二 尾山山如笑 尾山山如笑
二十三 尾山山如笑 尾山山如笑
二十四 尾山山如笑 尾山山如笑
二十五 尾山山如笑 尾山山如笑
二十六 尾山山如笑 尾山山如笑
二十七 尾山山如笑 尾山山如笑
二十八 尾山山如笑 尾山山如笑
二十九 尾山山如笑 尾山山如笑
三十 尾山山如笑 尾山山如笑
三十一 尾山山如笑 尾山山如笑
三十二 尾山山如笑 尾山山如笑
三十三 尾山山如笑 尾山山如笑
三十四 尾山山如笑 尾山山如笑
三十五 尾山山如笑 尾山山如笑
三十六 尾山山如笑 尾山山如笑
三十七 尾山山如笑 尾山山如笑
三十八 尾山山如笑 尾山山如笑
三十九 尾山山如笑 尾山山如笑
四十 尾山山如笑 尾山山如笑
四十一 尾山山如笑 尾山山如笑
四十二 尾山山如笑 尾山山如笑
四十三 尾山山如笑 尾山山如笑
四十四 尾山山如笑 尾山山如笑
四十五 尾山山如笑 尾山山如笑
四十六 尾山山如笑 尾山山如笑
四十七 尾山山如笑 尾山山如笑
四十八 尾山山如笑 尾山山如笑
四十九 尾山山如笑 尾山山如笑
五十 尾山山如笑 尾山山如笑
五十一 尾山山如笑 尾山山如笑
五十二 尾山山如笑 尾山山如笑
五十三 尾山山如笑 尾山山如笑
五十四 尾山山如笑 尾山山如笑
五十五 尾山山如笑 尾山山如笑
五十六 尾山山如笑 尾山山如笑
五十七 尾山山如笑 尾山山如笑
五十八 尾山山如笑 尾山山如笑
五十九 尾山山如笑 尾山山如笑
六十 尾山山如笑 尾山山如笑
六十一 尾山山如笑 尾山山如笑
六十二 尾山山如笑 尾山山如笑
六十三 尾山山如笑 尾山山如笑
六十四 尾山山如笑 尾山山如笑
六十五 尾山山如笑 尾山山如笑
六十六 尾山山如笑 尾山山如笑
六十七 尾山山如笑 尾山山如笑
六十八 尾山山如笑 尾山山如笑
六十九 尾山山如笑 尾山山如笑
七十 尾山山如笑 尾山山如笑
七十一 尾山山如笑 尾山山如笑
七十二 尾山山如笑 尾山山如笑
七十三 尾山山如笑 尾山山如笑
七十四 尾山山如笑 尾山山如笑
七十五 尾山山如笑 尾山山如笑
七十六 尾山山如笑 尾山山如笑
七十七 尾山山如笑 尾山山如笑
七十八 尾山山如笑 尾山山如笑
七十九 尾山山如笑 尾山山如笑
八十 尾山山如笑 尾山山如笑
八十一 尾山山如笑 尾山山如笑
八十二 尾山山如笑 尾山山如笑
八十三 尾山山如笑 尾山山如笑
八十四 尾山山如笑 尾山山如笑
八十五 尾山山如笑 尾山山如笑
八十六 尾山山如笑 尾山山如笑
八十七 尾山山如笑 尾山山如笑
八十八 尾山山如笑 尾山山如笑
八十九 尾山山如笑 尾山山如笑
九十 尾山山如笑 尾山山如笑
九十一 尾山山如笑 尾山山如笑
九十二 尾山山如笑 尾山山如笑
九十三 尾山山如笑 尾山山如笑
九十四 尾山山如笑 尾山山如笑
九十五 尾山山如笑 尾山山如笑
九十六 尾山山如笑 尾山山如笑
九十七 尾山山如笑 尾山山如笑
九十八 尾山山如笑 尾山山如笑
九十九 尾山山如笑 尾山山如笑
一百 尾山山如笑 尾山山如笑

Handwritten text in vertical columns, likely a collection of poems or a narrative. The characters are densely packed and include various kanji and kana. The text spans across multiple lines and columns on both pages of the manuscript.

卯七月

會林寺寫松風折

奉納精選五十負

新編五白選

句四六〇

五折

句四六〇
法... 寺... 新編五白選

寺鐘奪あふおのこみ棒あり出 東七宮坂

百ちりたりは僕又八伯了 遠近あり 気は湖水

句僕くも音肉は波舟榊 新編五白選

法十 浮つて天定あてきりし 三宮坂

句ぐんあり又一塩せし物あふん花 風来

折は夜ふも帯帯乃し折の八条由は糸 田島梅

句唐乃の成あやまつらぬを多榊 野田東漢

句坊まも物てやまのひは波舟の具 大木鳥吟

句梅は及もるの中 正法寺 藤原五公

空十物雪の中余すてまのありけり 中尾橋雲

中ありひは二のちりしは法地のの 中尾橋雲

折知もあつて道成すは松の海 中尾橋雲

寺堂自を動くやあはれまふ 中尾橋雲

句沙所花やあふのうらむ敵役 中尾橋雲

句美事四乃は名は侍りもはるる 中尾橋雲

句侍も乃内うあらしき 中尾橋雲

句腹中有一方とせ舟や 中尾橋雲

句宵くくふこのまふく 中尾橋雲

句裏北乃は語て教懐ハ兄質屋 中尾橋雲

句碎 狂ハもとの編よりなり 中尾橋雲

句是はさそて初心屋の鞠の庭 中尾橋雲

茶 老々モ

騷ク 松坂 坂

本田一校

世橋蓬

池以備

小山田

中尾橋

